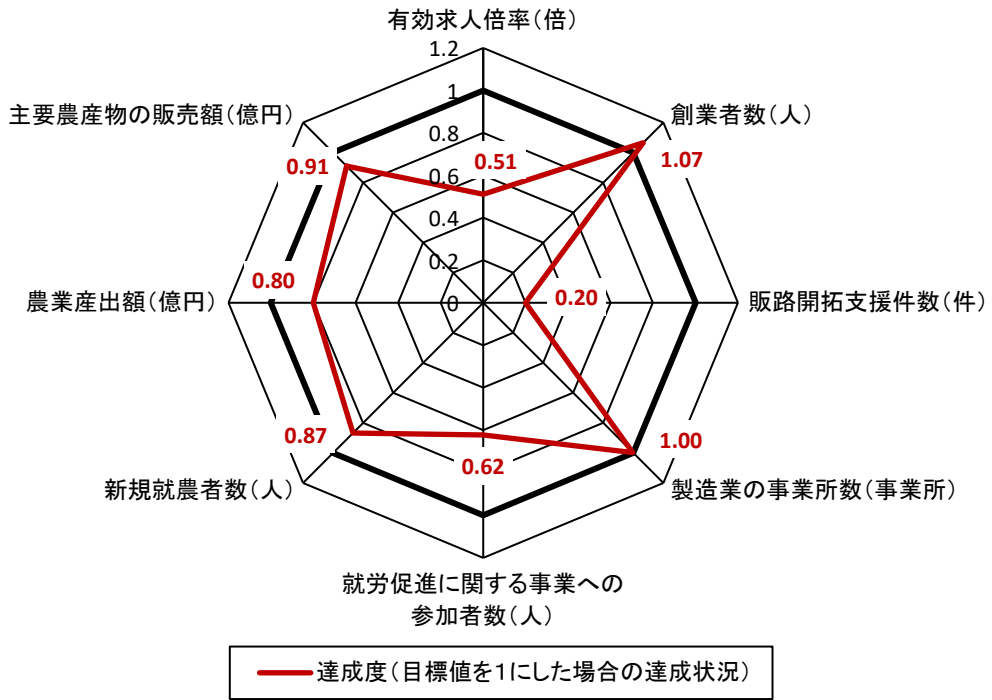
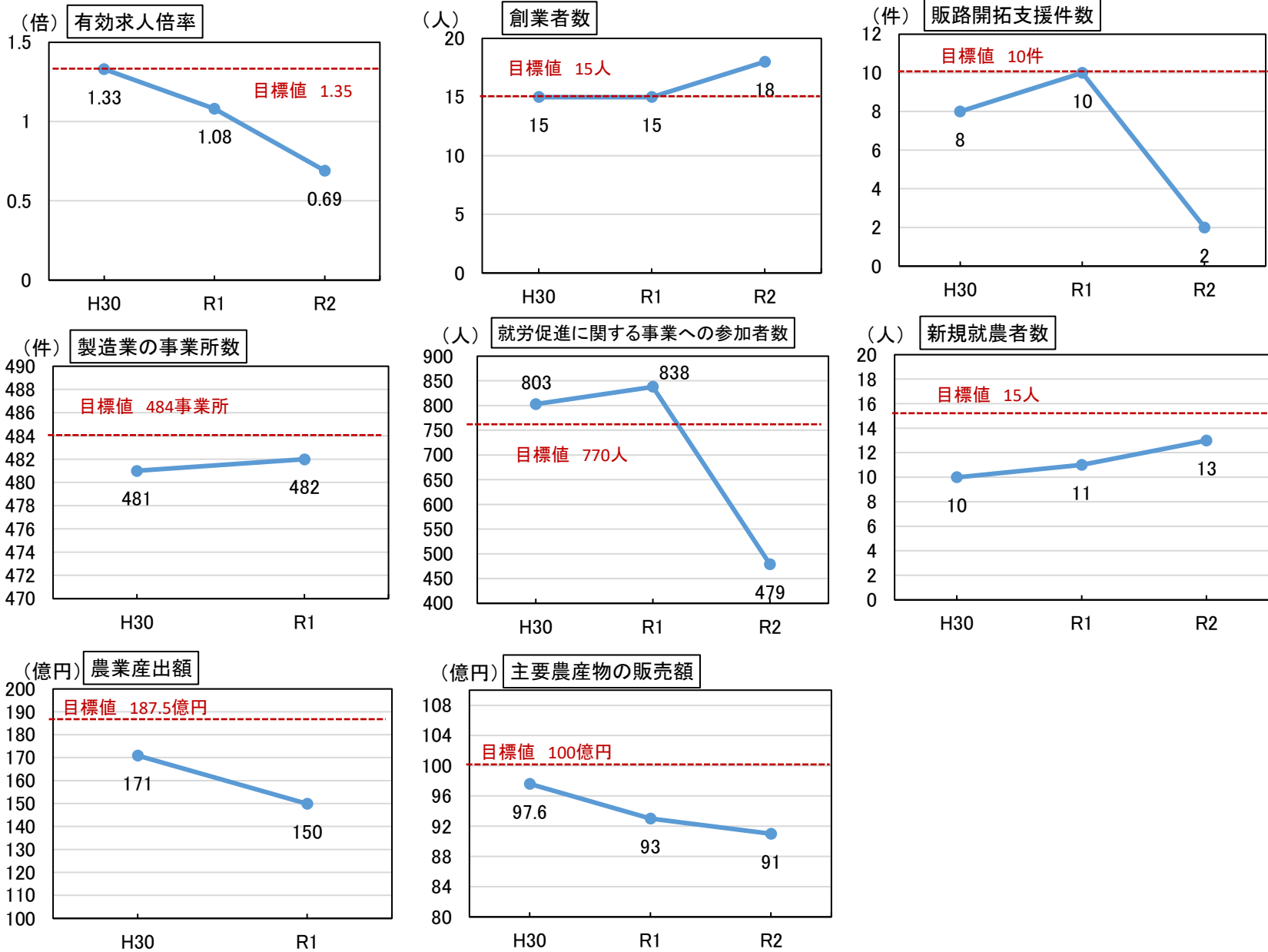


1 重要業績評価指標（KPI）の評価 （※ KPIのうち「年間商品販売額」は、最新値が公表されていないため非掲載。）

(1) 達成状況レーダーチャート

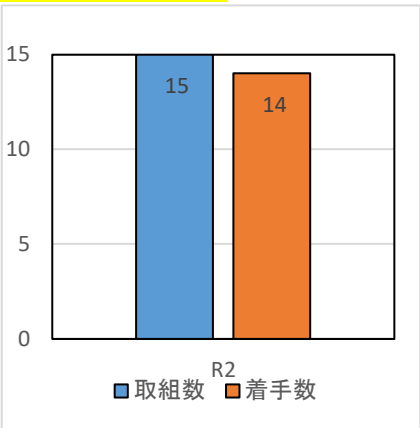


(2) 施策別 K P I の推移

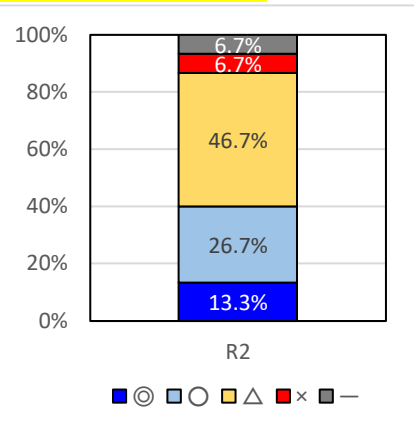


2 事業効果（主管課による評価）の推移

(1) 着手率



(2) 自己評価割合



着手率	93.3%
-----	-------

評価内容	◎:非常に効果的であった(目標値を上回った) ○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが、7~8割達成) △:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善) ×:効果がなかった、効果が得られなかった ―:未着手・未実施
------	---

4 新型コロナウイルス感染症の影響下における各指標の状況

※取組状況報告に掲載されているKPI及び活動指標のうち、令和元年度と2年度の実績値の増減の差が概ね20%以上ある主なものを抽出。増減に*がある指標は減少の方が効果的であるもの。

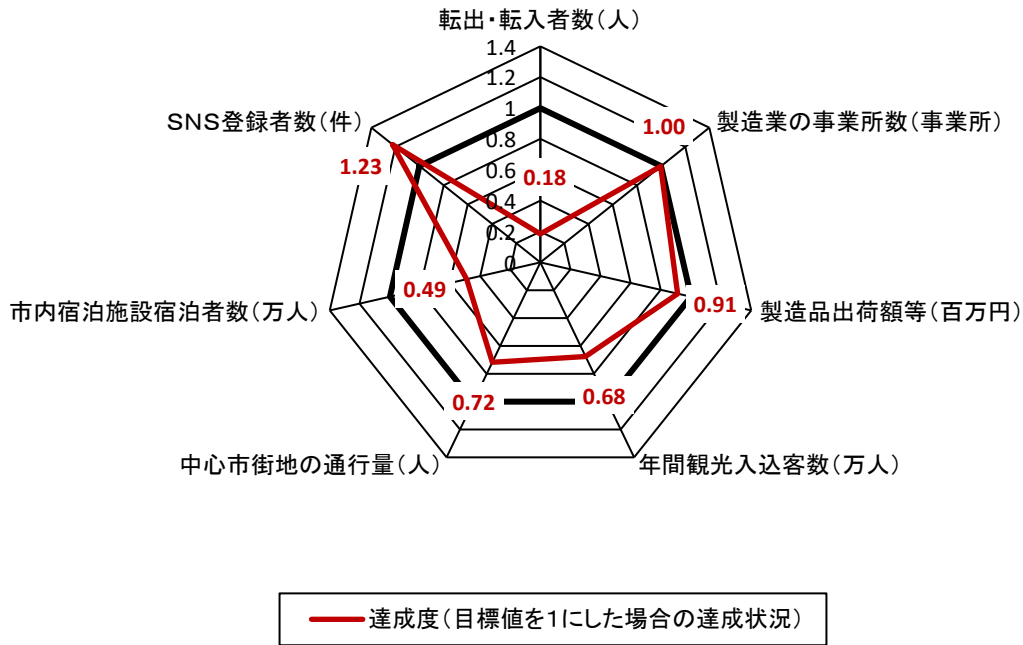
KPI(重要業績評価指標)又は活動指標	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	増減(%)
有効求人倍率	1.08	0.69	▲36.1%
販路開拓支援件数	10件	2件	▲80.0%
就労促進に関する事業への参加者数	838人	479人	▲42.8%
創業支援相談件数	227件	371件	+63.4%
職業能力開発専門学院の受講者数	750人	416人	▲44.5%
地域技能者活用事業による資格取得者数	10人	2人	▲80.0%
就農塾受講者数	4人	2人	▲50.0%
農作物被害額	21,547千円	12,930千円	▲40.0% *
農業体験・調理教室等参加人数	143人	19人	▲86.7%

3 評価における自己分析

- KPIでの目標値達成率は、12.5%（8項目中1項目※最新値が公表されていないKPIを除く）となっており、「創業者数」のみ達成した。「有効求人倍率」や「販路開拓支援数」など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたと考えられる指標がある。
- 主な事業の活動指標を基にした担当課の自己評価（R2）については、KPI達成状況と概ね連動していると考えられるが、「首都圏人材確保支援事業」は全事業の中で唯一、効果がなかったとの自己評価であり、事業内容の検証が必要と考える。

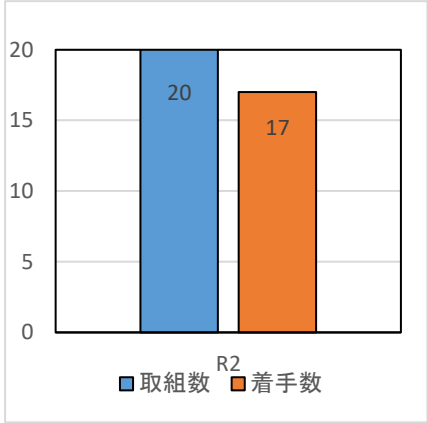
1 重要業績評価指標（KPI）の評価

（1）達成状況レーダーチャート

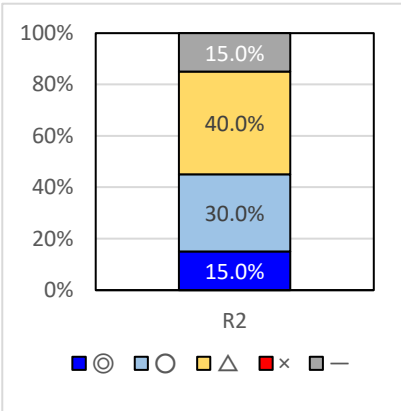


2 事業効果（主管課による評価）の推移

（1）着手率



（2）自己評価割合



着手率

85.0%

評価内容

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)
○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが、7~8割達成)
△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)
×:効果がなかった、効果が得られなかった
—:未着手・未実施

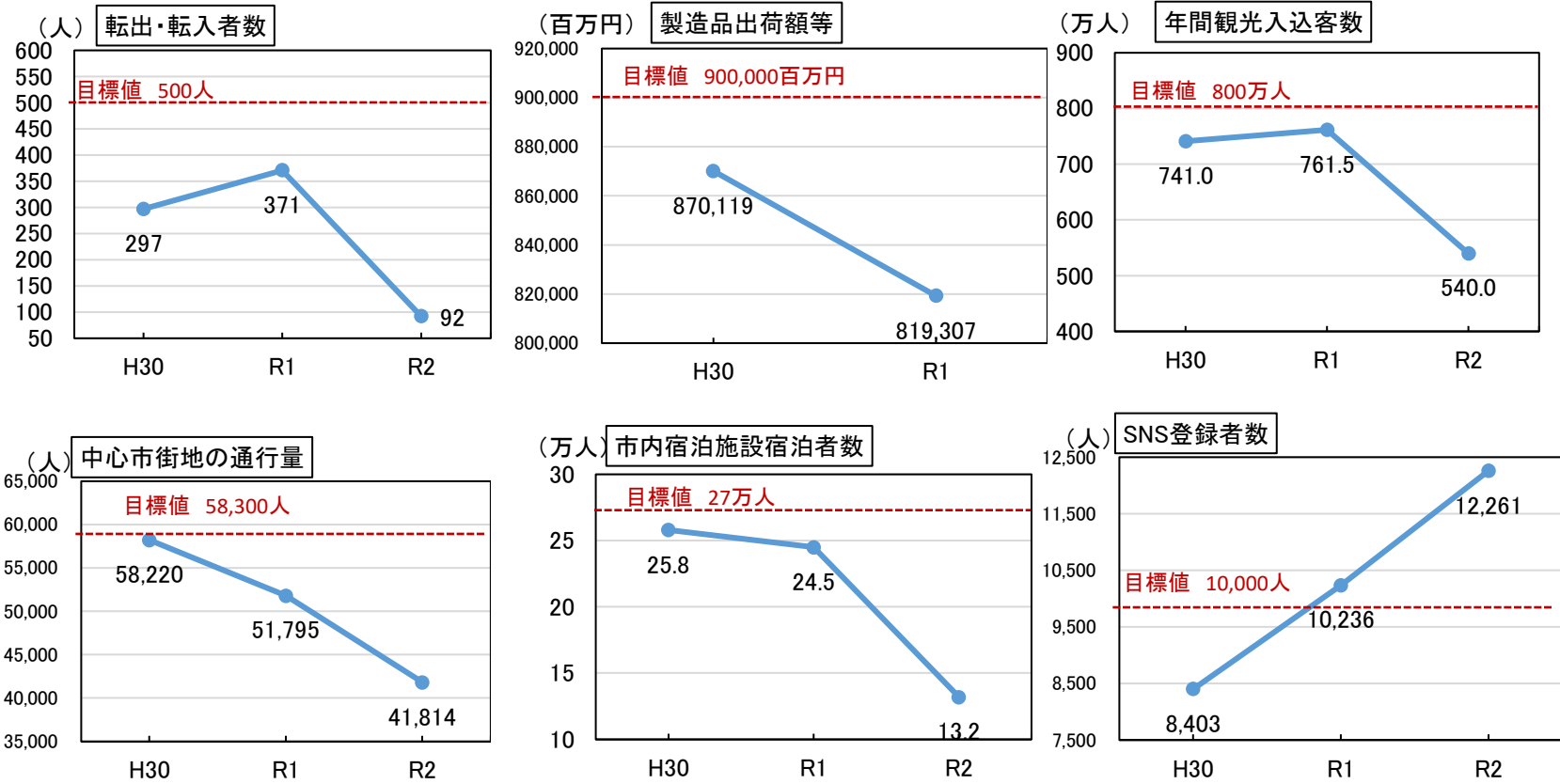
3 評価における自己分析

■KPIでの目標値達成率は、12.5%（8項目中1項目）となっており、特に「転出・転入者数」、「市内宿泊施設宿泊者数」の落ち込みが大きく、商業活動や観光分野を包含する「ひとの流れづくり」に対しては新型コロナウイルス感染症拡大が大きく影響していると考えられる。

■業績評価指標を基にした担当課の自己評価（R2）については、「シティセールス・観光の振興」が△の評価を多く占める一方で、「企業立地・産業集積」は◎の評価が多く比較的順調に事業が進展している。

（2）施策別KPIの推移

※KPIのうち「製造業の事業所数」の推移は、基本目標①しごとづくりの（2）に施策別KPIの推移に掲載。

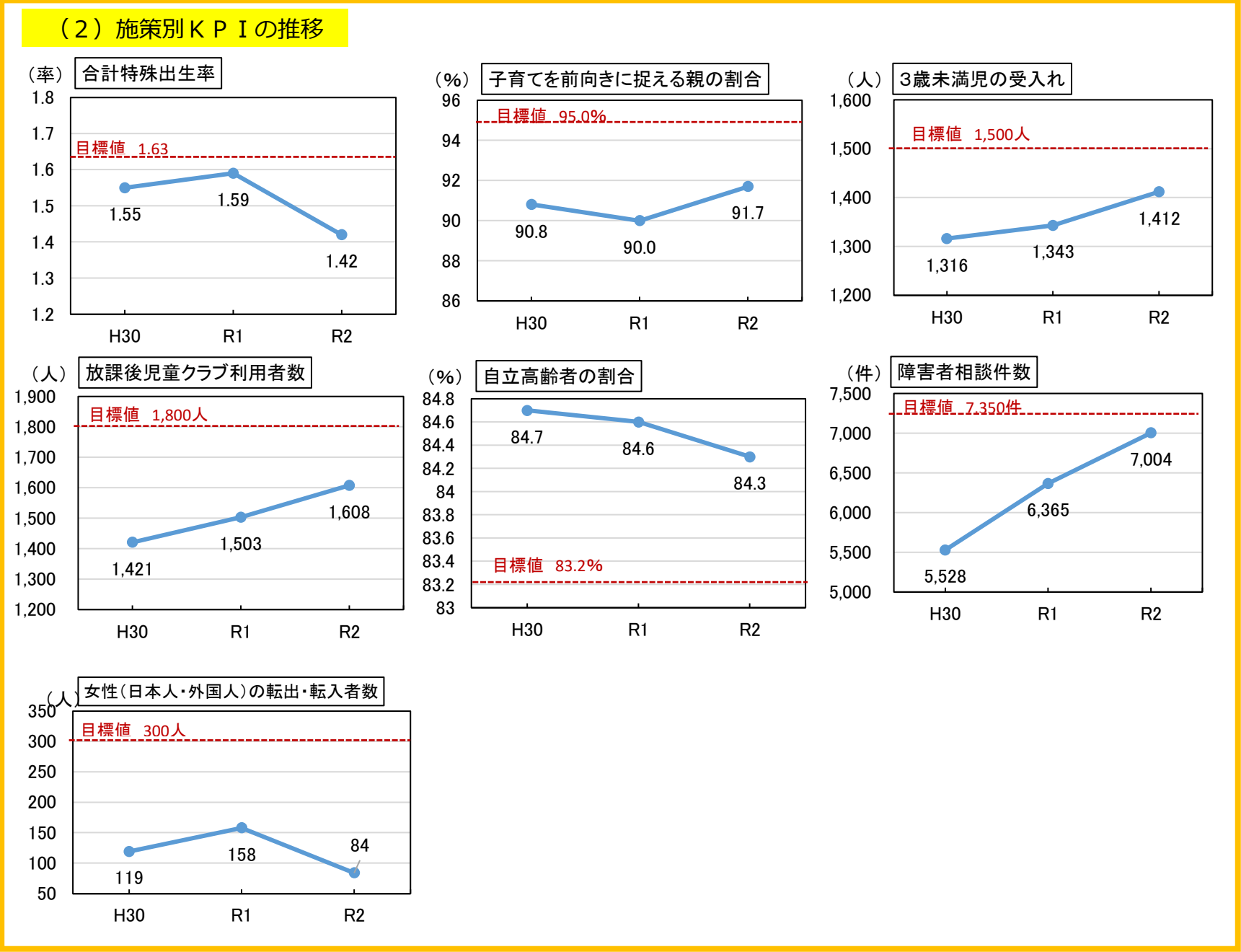
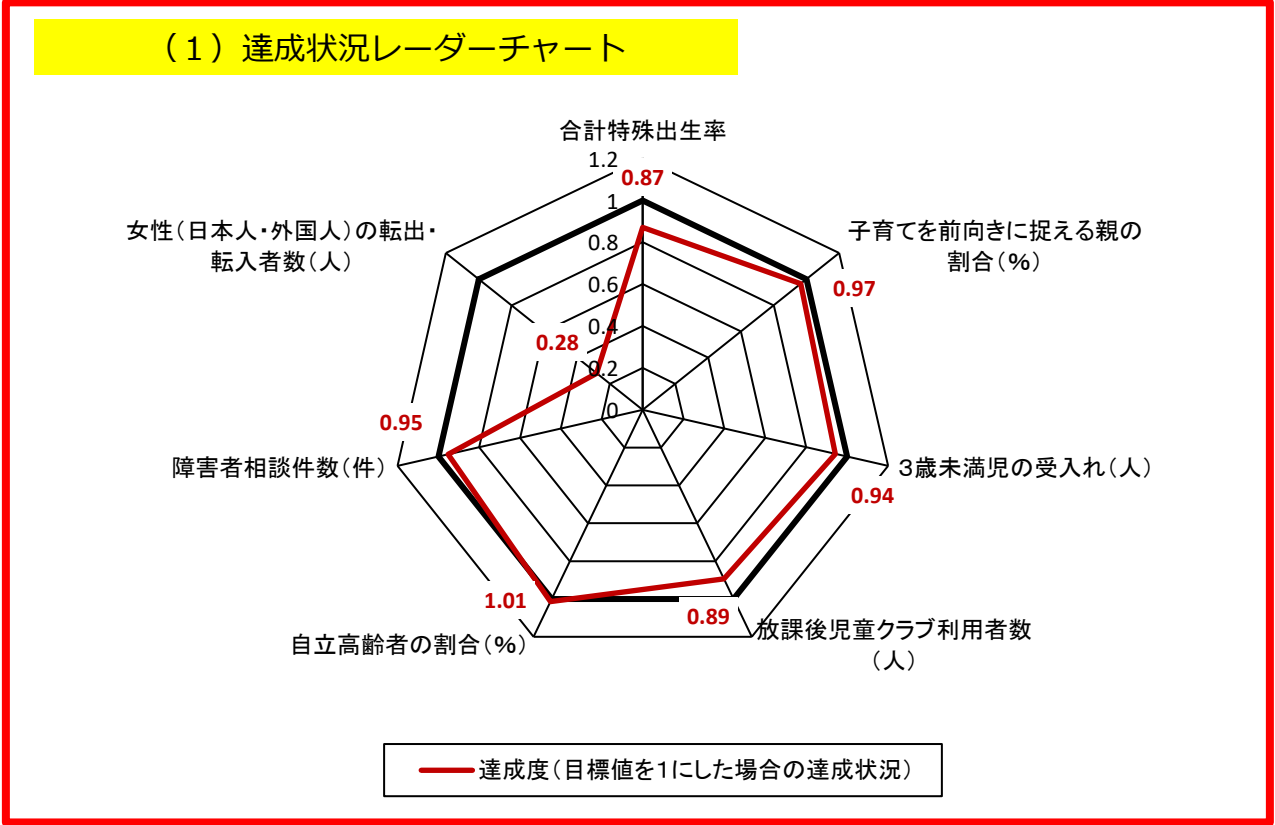


4 新型コロナウイルス感染症の影響下における各指標の状況

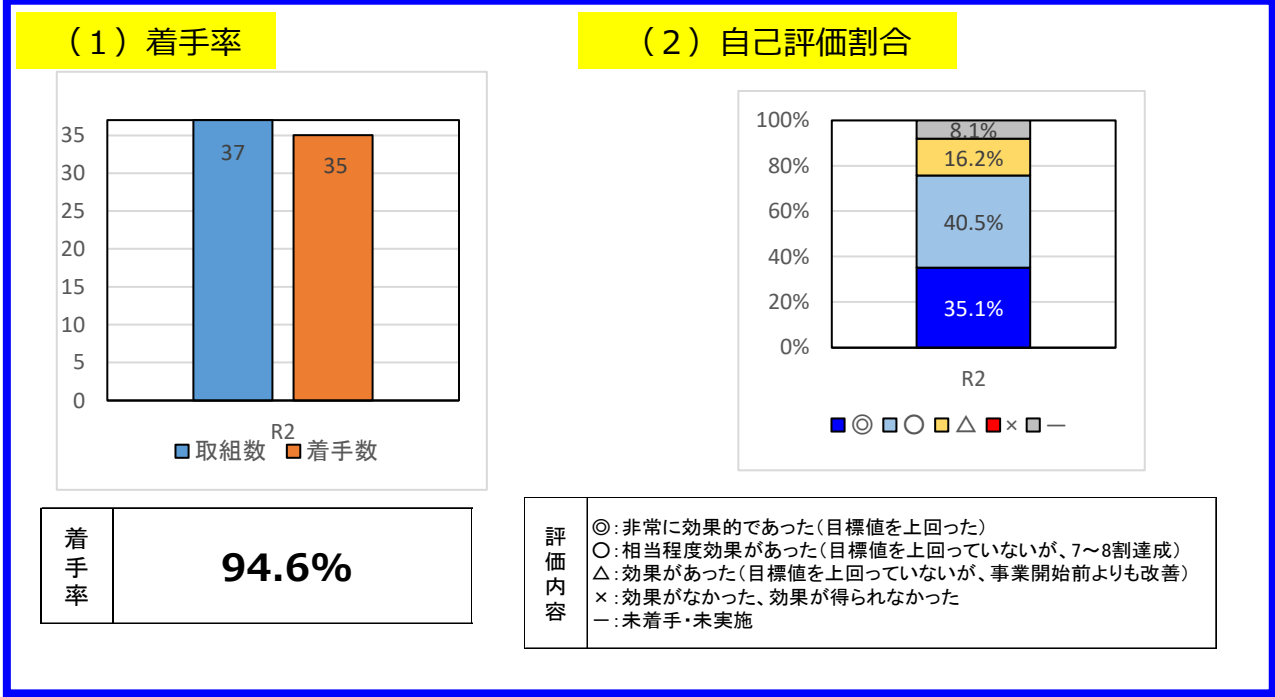
※取組状況報告に掲載されているKPI及び活動指標のうち、令和元年度と2年度の実績値の増減の差が概ね20%以上ある主なものを抽出。

KPI(重要業績評価指標)又は活動指標	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	増減 (%)
転出・転入者数	371人	92人	▲75.2%
年間観光入込客数	838万人	479万人	▲42.8%
市内宿泊施設宿泊者数	25万人	13万人	▲46.1%
とよかわブランドを活用したプロモーション実施回数	13回	4回	▲69.2%
ぎょぎょランド来園者数	36.7万人	25.8万人	▲29.7%
リレーマラソン・シティマラソン参加者数	5,931人	0人	▲100.0%
トップアスリートふれあい交流事業の教室参加者数	235人	45人	▲80.9%
スポーツ合宿宿泊者数	1,012人	186人	▲81.6%
運動施設利用者数	420,355人	225,924人	▲46.3%
三河天平の里資料館・平和公園・大橋屋の来園者・来館者数	60,782人	40,572人	▲33.2%
外国人宿泊者数	52,079人	2,706人	▲94.8%
ウォーキングイベント参加者数	420人	0人	▲100.0%
観光おもてなし力促進事業の講座受講者数	3人	0人	▲100.0%
ふるさと納税返礼品数	24品	107品	+345.8%

1 重要業績評価指標（KPI）の評価 （※ KPIのうち「『子どもを生み、育てる環境』市民満足度」は、最新値が公表されていないため非掲載。）



2 事業効果（主管課による評価）の推移



3 評価における自己分析

■KPIでの目標値達成率は、14.3%（7項目中1項目※最新値が公表されていないKPIを除く）と低いものの、3つのKPIで達成度が目標値の9割に達しており、相当程度の効果があったものと評価する。

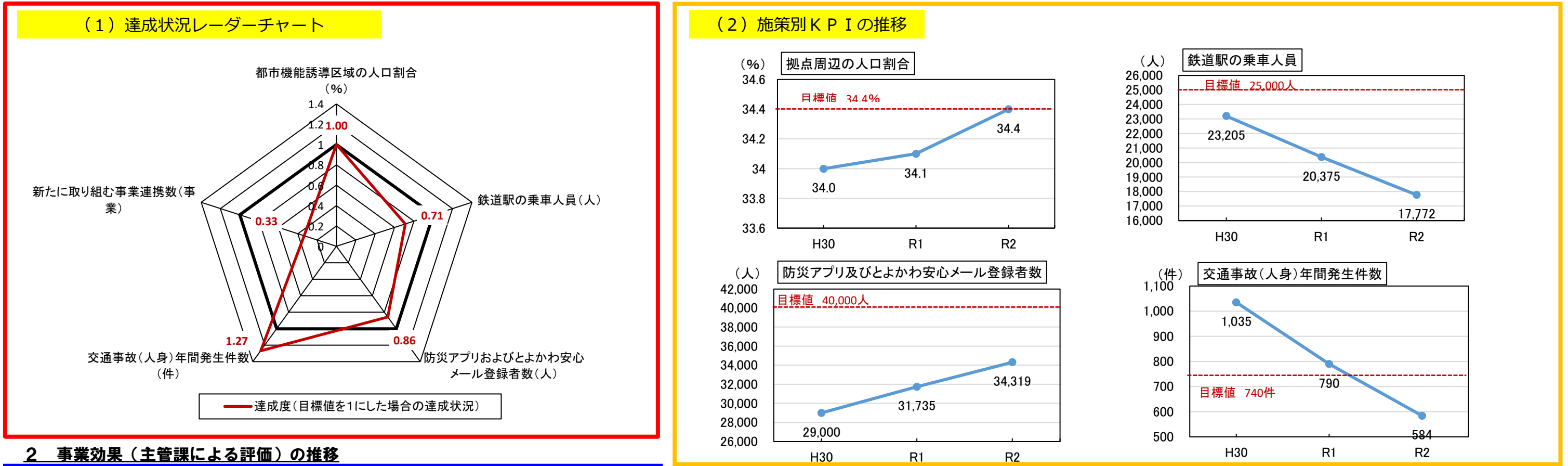
■活動評価指標を基にした担当課の自己評価（R2）については、KPI達成分野及び達成度が高い事業において◎の評価または○の評価が多く、個別事業の活動指標とKPI（成果指標）が、概ね適正に設定できていると考える。

4 新型コロナウイルス感染症の影響下における各指標の状況

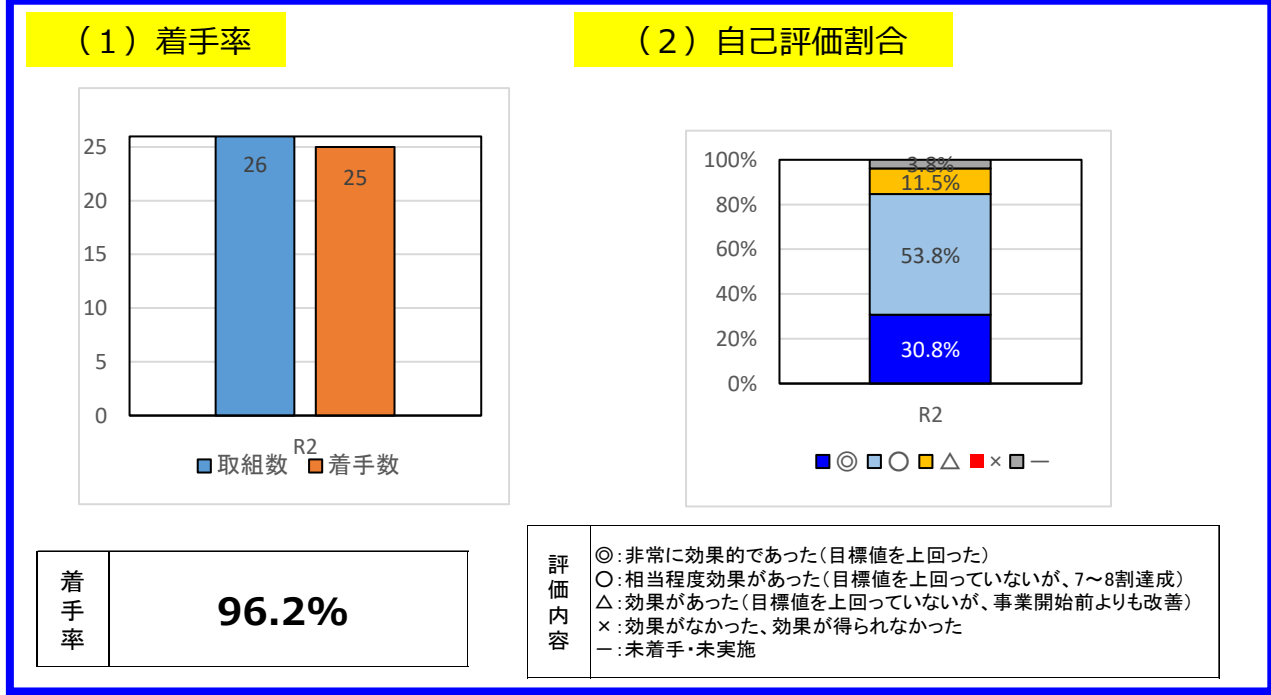
※取組状況報告に掲載されているKPI及び活動指標のうち、令和元年度と2年度の実績値の増減の差が概ね20%以上ある主なものを抽出。

KPI(重要業績評価指標)又は活動指標	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	増減 (%)
女性（日本人・外国人）の転出・転入者数	158人	84人	▲46.8%
婚活イベント参加者数	72人	18人	▲75.0%
産後ケア利用件数	10件	33件	+230.0%
一時預かり事業延べ利用児童数	7,367人	4,799人	▲34.9%
病児・病後児保育事業延べ利用児童数	373人	9人	▲97.6%
ファミリー・サポート・センター事業活動件数	1,752件	2,474件	+41.2%
電子連絡帳システムに登録されている延べ患者数	2,019人	2,931人	+45.2%
こぎつね教室に年間で入室する児童生徒の人数	60人	47人	▲21.7%
ワーク・ライフ・バランスに関する講座の参加人数	50人	15人	▲70.0%
とよかわオープンカレッジ講座数	339講座	138講座	▲59.3%

1 重要業績評価指標（KPI）の評価 （※ KPIのうち「『豊川市の住みよさ』市民満足度」、「『安全・安心』市民満足度の平均値」は、最新値が公表されていないため非掲載。）



2 事業効果（主管課による評価）の推移



3 評価における自己分析

■KPIでの目標値達成率は、40.0%（2項目中5項目※最新値が公表されていないKPIを除く）となっており、未達成のKPIにおいても、目標設定がR7年度に向けて積み上げる目標値については、順調に推移しているものと評価する。

■活動評価指標を基にした担当課の自己評価（R2）については、KPI達成分野の事業において◎の評価または○の評価が多く、個別事業の活動指標とKPI（成果指標）が、概ね適正に設定できていると考える。

4 新型コロナウイルス感染症の影響下における各指標の状況

※取組状況報告に掲載されているKPI及び活動指標のうち、令和元年度と2年度の実績値の増減の差が概ね20%以上ある主なものを抽出。増減に*がある指標は減少の方が効果的であるもの。

KPI(重要業績評価指標)又は活動指標	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	増減（％）
交通事故（人身）年間発生件数	790件	584件	▲26.1% *
拠点地区定住促進事業補助金交付件数	78件	158件	+102.6%
老朽空家等解体費補助金交付件数	69件	47件	▲31.9%
空家バンク登録件数	7件	3件	▲57.1%
コミュニティバス利用者数	101,604人	71,129人	▲30.0%

5 新型コロナウイルス感染症の影響下における各指標の状況の自己分析（全体）

【人口動向】

■本市への転入超過数〔（R1）371人→（R2）92人〕、女性の転入超過数〔（R1）158人→（R2）84人〕が大きく減少している。

【観光・レジャー動向】

■年間観光入込客数〔（R1）838万人→（R2）479万人〕、外国人宿泊者数〔（R1）52,079人→（R2）2,706人〕が大きく減少している。

■ぎょうぎランド来園者数〔（R1）36.7万人→（R2）25.8万人〕をはじめ、集客施設への来場者が大きく減少している。

【市が主催するイベント等】

■企業や個人向けのイベント・講座等は、予定通り開催できなかったものが多く、関連する実績値は全般的に低調となっている。

【今後の考え方】

■新型コロナウイルス感染症の影響下において、KPI及び活動指標の令和2年度実績値は令和元年度に比べて低調となっているものが多い一方で、外出自粛による交通事故（人身）年間発生件数の減少や託児施設等の利用控えによるファミリーサポートセンター事業活動件数の増加、緊急経済対策の一環に位置付けたことによるふるさと納税返礼品の増加など、新たな潮流も見られている。

■引き続き、数値目標等の進捗状況を的確にとらえ、新型コロナウイルス感染症が総合戦略に及ぼす影響を把握し、ウィズコロナ・アフターコロナに関する国・県の動向を踏まえながら、総合戦略に掲げた取組を推進していく。